

議会議案第 2-13 号

令和 2 年 12 月 11 日

葉山町議会議長 伊東 圭介 様

教育民生常任委員会

委員長 鈴木 道子

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための
意見書の提出について

地方自治法第 109 条第 6 項及び葉山町議会会議規則第 13 条第 3 項の規定によ
り、別紙のとおり提出します。

提案理由

国に対し、安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため、
提案するものであります。

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守る
ための意見書

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック(感染爆発)は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」が取り沙汰され、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がった。これにより明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足問題などである。これらの諸問題の背景には、90年代後半から続いてきた医療・介護・福祉など社会保障費の抑制策や、公衆衛生施策の縮減がある。

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして新型コロナウイルスと新たなウイルス感染とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染への対応が必要になる。

国民のいのちと健康、暮らしを守るため、そして新たなウイルス感染や自然災害などの際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題である。よって国においては、国民が安心して暮らせる社会実現のために、次の事項について早急な対策を講じるよう要望する。

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声

を踏まえた医療体制の充実を図ること。

3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月11日

葉山町議会

提出先 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣